

建設委員会 質問

7月19日 河川治水対策について

- ・本県の河川整備計画における流域治水対策の考え方について
- ・ハード・ソフト一体となった対策の推進について要望

委員会の様子はコチラ

30:06~35:24



8月19日 流域治水について

- ・県内の流域治水対策の取組状況について
- ・農林部局や市町など、関係部局と連携した取組について

委員会の様子はコチラ

24:25~27:57



10月5日 広島県広域水道連携について

- ・和歌山県水道橋崩落事故を踏まえた本県の法定耐用年数40年を超えた管路状況について
- ・管路の点検方法について
- ・市町が管理する管路の更新計画について
- ・更新実施による水道料金への影響について
- ・老朽化対策と合わせた水道管の複線化等のバックアップについて



・強靭な水道システムの構築、老朽化・強靭化対策の強化について

委員会の様子はコチラ

32:12~39:25



国際平和・観光振興対策特別委員会 質問

9月7日 国際平和拠点ひろしま構想について

- ・各市町における取組状況について
- ・平和貢献の更なる取組状況について
- ・広島県の主体的な平和貢献の姿を打ち出していくことについて要望

委員会の様子はコチラ

18:39~21:54



11月17日 観光促進事業について

- ・県内での観光促進事業「やっぱ広島じゃ割」の現状と効果について
- ・県境を越えたエリアを対象とした観光促進事業の実施について
- ・県内全域に経済効果をもたらす裾野広い促進事業の実施について要望

委員会の様子はコチラ

3:47~7:55



Activity 坪川たつひろの活動



県内調査 三原災害復旧工事現場



県内調査 福山沼隈道路



蒲刈おさかなカーニバル

撮影の為、マスクをはずしています

プロフィール

- 昭和46年 呉市川尻町生まれ
祖父は坪川蔵之助（元川尻町長）
父は坪川禮巳（元広島県議会議員、清水ヶ丘学園理事長）
平成元年 広島県立広高等学校卒業（40期）
平成5年 明治大学理工学部工業化学科卒業
平成5年 ライオン株式会社研究開発本部入社
平成9年 株式会社 坪川毛筆刷毛製作所入社
平成21年 吳広域商工会青年部長
平成25年 吳法人会青年部会長
平成31年 广島県議会議員 初当選
令和元年 常任委員会 建設委員
特別委員会 地域魅力向上・健康を支える社会基盤強化対策特別委員
令和2年 常任委員会 総務委員
特別委員会 決算特別委員
常任委員会 建設委員
特別委員会 国際平和・観光振興対策特別委員
令和3年

現在は：

- 公益財団法人呉法人会 監事
呉間税会 豊田支部長
呉広域商工会 監事
川尻毛筆事業協同組合 理事長
地方創生セミナー 副委員長
広島県土地家屋調査士会 顧問
日中友好議員連盟
日華友好議員連盟
ユニタール支援議員連盟
ASEAN研究会
水産振興議員連盟
県中央政策研究会
商工会地域活性化議員連盟
農林業活性化議員連盟
果樹園芸振興議員連盟

SNSで日々の活動を配信中!!

[facebook](#)

坪川竜大



[Instagram](#)

坪川竜大



料金別納
郵便

郵便区内特別

県政報告

2021 Vol.6



自由民主党広島県議会大志会
広島県議会議員《呉市選挙区》

50歳

坪川たつひろ

建設委員、国際平和・観光振興対策特別委員

連絡先

坪川竜大事務所 〒737-2602 広島県呉市川尻町森2-10-1

TEL(0823)87-2123/FAX(0823)87-6124

自由民主党広島県議会大志会

〒730-8509 広島県広島市中区基町10-52 TEL(082)513-4664/FAX(082)223-2034

ご挨拶

まずは、はじめに、未知のコロナウイルス感染症と戦っている方々へ感謝・御礼を申し上げます。

また、罹患、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。

昨年4月の緊急事態宣言の直前、厚生労働省のクラスター対策班から「新型コロナウイルスの感染拡大で、人と人との接触を減らすなどの対策を全く取らない場合、国内では重篤患者が約85万人に上り、半数の42万人が亡くなる恐れがある」という試算が公表され、日本中が凍りつけました。

「医療崩壊」という危機感あふれる報道は、人々の恐怖感を煽りました。大変なことではないといっているわけではなく、多くのメディアが「経済か」、「人命か」のヒューマニズムに流され、情報が錯綜し、科学的、専門的な報道がなされなかつたことにも問題があると思います。

リーダーとは情報力をもち、方針と施策を提示しなければならないということをあらためて認識しました。

岸田総理には、あらゆる面でリーダーシップを発揮されることを期待したいところであります。

この先、重要なのは、「国民の安全・安心と幸福のために何をするべきか」であり、ピンチをチャンスと考え、私自身も研鑽を積んでいきたいと思っております。

最後に、政治とは情熱と判断力を駆使し、岩盤に穴をあけていくようなものです。

厳しい時代ではありますが、引き続き、常に県民のことを考え、高い志をもって政治活動を行っていきたいと思います。

敬具

令和3年12月吉日



湯崎県知事と

撮影の為、マスクをはずしています

ご意見等ございましたらご連絡いただければ幸いです。また、県政報告の受取ご希望の方をご紹介ください。

令和3年 9月定例会

一般質問

1 コロナ不況を打破するための施策について

1) 新型コロナウイルスワクチン接種体制について
ワクチン接種が感染予防や重症化予防に多大な効果がある以上、県民の安全・安心の確保という意味では、どの居住地でも公平なタイミングでワクチン接種を受けられる環境整備が求められるのではないかでしょうか。

国・県・市町のそれぞれの役割の中で、ワクチン接種に係る県内市町間の体制整備の格差をどのように受け止め、今後、どのように対応していくのか、知事の御所見をお伺いします。

【健康福祉局長】

ワクチンの接種につきましては、各市町において、円滑に進むよう医療資源や人口等の地域の実情に応じて、優先接種対象者や集団接種会場の設置時間等を設定しているところでございます。

県といたしましても、医師会及び市町と連携し、住所地内外に関わらず接種が可能となる広域接種を開始し、接種希望者の利便性の向上を図ってきたところでございます。

今後におきましては、引き続き、市町と連携して、ワクチンの有効性等に関する情報を提供するとともに効果的な広報や接種機会を確保するなどにより、一人でも多くの方に、一日でも早く接種していただけるよう取り組んでまいります。



広島県にパルスオキシメーターを寄付（立会）

2 経済回復後の地方創生への取組について

ますが、データ活用の環境を整えるにとどまらず、将来的には、官民連携によるインフラ管理を実現し、県民の皆様の安全・安心の確保、さらには新たなサービスの創出につなげてまいりたいと考えております。

今後は、こうした取組を単なる業務プロセスのデジタル化に止まらず、業務の効率化や、県民の皆様の負担軽減や利便性の向上につなげてまいりたいと考えております。

3 スーパーシティ構想について

日本においてテクノロジーの進化によりこれらを解決できる土壤が育ってきたので、これらを有効に活用して、世界に先駆けて「広島版未来都市」を作っていく必要があるのではないかでしょうか。

スーパーシティ構想は、夢のある事業であり、広島県として本気で取り組んでいくべきと考えますが、知事のご所見をお伺いします。

また、国が進めるスーパーシティプロジェクトは基本的に手挙げ方式で進められており、県が主導で進める事業とは違い、プロジェクトの進展が市町の判断に委ねられてしまいますが、県はどのようなスタンスで関わっていくのか、併せてお尋ねします。

【知事】

本県の目指す姿の実現に向けましては、特に、利用者目線でのデジタル技術の社会実装という点で、DX推進本部を先頭に、先端技術を活用して新たな付加価値創出に取り組む「ひろしまサンドボックス」や、産学金官が連携してDXを実践する、県内全市町も参加する「広島県DX推進コミュニティ」の活動など、精力的に取り組んでおります。

2 経済回復後の地方創生への取組について

1) 観光資源を活用した地域活性化について

10年経った今もなお、知事が当時言っていたように「宮島、呉、尾道は、それぞれが独立した目的地」となっており、私には、周遊型観光への取組は道半ばのように見えますが、知事の目にはどう映り、この間の取組をどう評価されているのかお伺いします。

また、地域に点在する多種多様な観光資源を掘り起こし、効果的に活用していくため、様々な環境整備を行っていくべきだと考えますが、知事の御所見をお伺いいたします。

【知事】

今後、周遊型観光を拡大していくためには、国内外への「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」の更なる浸透が必要であることに加え、高齢者や外国人を含めた全ての観光客が、ストレスなく、快適に周遊観光を楽しめるための環境整備はまだ十分でないものと認識しております。

さらに、観光客が安全・安心にストレスなく周遊観光を楽しめるよう、感染防止対策の徹底やWi-Fi等の情報通信基盤の整備、二次交通の充実など様々な受入環境整備を取り組んでいくことにより、国内外の多くの観光客の県内周遊を促進し、地域経済の活性化を図っております。

【副知事】

広島デジフラ構想の実現に向けて、まずは、県が保有するインフラデータの一元化やオープン化に取り組んでおり



県知事への呉市要望活動

2) 中小企業に対する支援について

中小企業等経営強化法に基づき承認を受けると、様々な支援措置を利用することが可能となり、事業者の業績拡大・向上に資するとされる「経営革新支援事業」があります。

経営革新の目標を達成する中小企業の増加は、地域経済の再生を牽引するものと確信しております。

経営革新計画への取組が、今まで以上の効果をもたらすためにも、目標達成していない中小企業へのフォローアップ支援の更なる充実強化を図るべきと考えますが、今後、県としてどのように取り組まれるのか、知事の御所見をお伺いします。

【商工労働局長】

本制度の課題といたしましては、計画は策定したものの、市場動向が十分把握できず販路開拓が進まないことや、予定していた受注量が大幅に減少したことなどの要因で、目標が未達成となった事業者が半数程度となっていることが挙げられます。

そのため、今年度から、経営革新計画の作成に取り組む事業者へ経営指導を行う商工団体の経営指導員を計画的に増員し、きめ細かい伴走型の経営指導に取り組むなど、質と量を意識したフォローアップ体制の強化に取り組んでおります。

3) 脱炭素に向けた地方自治体の役割について

脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した自治体が全国的に増えつつあります。県内では広島市、尾道市、大崎上島町のみという状況です。

県内において自動車産業や重工業などを地場産業としている自治体とそうでない自治体では取組意識に温度差が感じているのではないかでしょうか。

2050年カーボンニュートラルや本県の「ゼロカーボンシティ宣言」を実現させるためには、市町による普及啓発や主体的な取組が必要不可欠と考えますが、今後、脱炭素の推進に向けて市町へどのように働きかけていくのか、知事の御所見をお伺いいたします。

【知事】

県といたしましては、国がカーボンニュートラルの実現に向けて検討している新たな削減目標や支援制度のほか、様々な先進事例などの情報収集や分析を行い、県及び市町が連携して地球温暖化対策をはじめ、環境行政の諸課題の解決に取り組むために設置している広島県環境行政総合調

整会議やその専門部会等も活用しながら、情報共有や意見交換を重ねるなど、積極的な支援・協力をやってまいります。



一般質問の様子

3 県土強靭化に向けた公共事業の必要性について

公共土木事業予算は、当初予算ベースで、平成8年度の2,100億円をピークに、災害関連でいくらか増えているものの、令和3年度は850億円と、約5割以下に縮減されている状況です。

近年、激甚化・頻発化する災害を踏まえ、安全・安心に必要な県土強靭化に向けた整備はもちろんのこと、本県の発展に資する社会基盤整備を「社会資本未来プラン」に基づき着実に推進するため、必要な公共事業予算を確保していく必要があると考えますが、知事の御所見をお伺いします。

【知事】

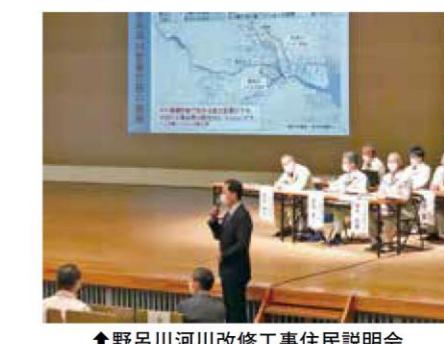
プランを着実に推進するために策定した道路、河川などの事業別整備計画における今後5年間の投資予定額は、前計画と比較して、事業費ベースで約800億円の増額を図っているところであります。國の「防災、減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」などの有利な財源等を活用して、計画的に実施してまいります。



↑広長浜地区砂防堰堤工事
住民説明会



↑呉平谷線工事住民説明会



↑野呂川河川改修工事住民説明会

●令和3年度補正予算 総額873億6百万円を可決